

ICCAIAボード及び総会報告

2024年3月27日にリモート形式で、ICCAIAのボード及び総会が開催され、当会からは専務理事の代理として小職が参加したので、以下報告する。

1. ボード会議

ICCAIAの機能拡張計画に沿った人員増強が行われており、新たにモントリオール事務所駐在となった2名の紹介、コロナ禍後の状況を反映した5年戦略の見直しの説明、会計報告などが行われた。参加者は議決権を持つAIA（米国）、ASD（欧州）、AIAC（カナダ）、

AIAB（ブラジル）及びSJACと、準会員のAAIS（シンガポール）、CSAA（中国）、FEMIA（メキシコ）、MAIA（マレーシア）、それにICCAIAのモントリオール駐在である。アジェンダに沿ってボードでの概略を以下に示す。

1	Welcome	ICCAIA会長(AIA専務理事 Mr. Eric Fanning) による開会の挨拶。
2	Approval of the Agenda and the Minutes	2023年10月11日に開催された前回ボード会議の議事録の承認。
3	New ICCAIA Team Member Introductions	新任のICCAIAモントリオール駐在の紹介。 Mr. Majid Badiy, Director, Air Navigation and Safety Policy(航空管制及び安全関係担当) Ms. Anouck Barreaux, Director, Environment, Security, Health & Facilitation Policy(環境、セキュリティー等担当)
4	5-Year Strategy Approval	ICCAIAの5年戦略改定の承認。コロナ禍の対応が一段落したので関連する項目を削除し、脱炭素に関連する項目の増強をおこなった。
5	International Aviation Climate Ambition Coalition (IACAC) Invitation	英国政府が国連気候変動枠組条約締約国会議(COP)をきっかけに取組みを進めている協議体より、ICCAIAにオブザーバー参加の打診があり、その対応を協議。日本国政府は参加済。
6	ICCAIA Expansion Program	ICCAIAのモントリオールでの機能拡大の進捗状況やモントリオール当局との折衝状況についての説明が行われた。
7	First Half Financial Situation	財務状況の説明。ICCAIAの機能拡大に関係する費用は、AIA(米国)、ASD(欧州)、AIAB(ブラジル)が相応の負担増に対応することが報告された。
8	Debrief on ATAG Board Meeting	Air Transport Action Group (ATAG)のボード会議参加についての報告。
9	Spring 2025 Conference	2025年5月にICAOにおいてICCAIAが主催するイベントを行う計画があることが発表された。ICCAIAのICAOでのプレゼンス向上を狙いとしている。
10	Any Other Business	Eric Fanning会長によるクロージング

2. 総会

ICCAIAが準拠するカナダ法に基づいて開催されるもので、財政状況（予算）の報告やICCAIAの各技術委員会からの活動報告が行

われた。参加者はボード会議に加えて、各技術委員会の議長である。アジェンダに沿って総会での概略を以下に示す。

1	Opening and Approval of the Agenda	ICCAIA会長(AIA専務理事 Mr. Eric Fanning)による開会の挨拶とアジェンダの承認。
2	Approval of the Minutes of the 2023 AGM	2023年度総会議事録の承認。
3	ICCAIA Financial Report	2023会計年度報告。
4	Appointment of Auditors	会計監査人の承認
5	Election of the Board of Directors of ICCAIA	副会長(Vice Chair)交代の承認。
6	Reports of the Committees (Chairs of the Committees)	各委員会からの報告。
7	Any other business	

第6項の各委員会からの報告の概要は以下である。

ストラテジー委員会（S/C）

月次開催を基本として10回開催（すべてリモート開催）。

各技術委員会の活動を支援。

ICCAIAの5年戦略改定の協議を実施。

3回の委員会開催（全てリモート）。

通信・航空管制委員会（CSA/ATM）

臨時の小委員会を設置。（eMCO（extended Minimum Crew Operations）など）。

ICAO標準改定への参加。

IATAとの通信関連でのワーキンググループ活動実施。

騒音・燃焼委員会（ANEC）

ICAOのLTAGへの取組に対応。

ICAOとしてCOP28に対応するためのCAAF/3会議へ対応。

多くの打合せを実施（小さな会合を含めて約100回のリモート開催）。

ロシア制裁に係る技術情報の扱いについての対応。

ヘルス・設備・危機管理委員会

ICAO付属議定書（Annex9）改定作業への参加。

関連するICAO委員会への参加。

セキュリティ委員会

ICAO内で関連する組織の確認と情報交換。

関連するICAOパネルへの人員派遣。

耐空性委員会（AWC）

ICAOの関係するパネルへの人員派遣。

Air Navigation World Symposiumへの参加。

AAM（Advanced Air Mobility）委員会

2023年4月に立上げ、同年5月のICAO委員会へ参加。

現在では参加人数は約40名まで増加。

ICCAIAの他の技術委員会との連携も進めている。

3. 所感

ICCAIAのICAOでの幅広い活動があらわれていたボード会議や総会であった。ICCAIA

の各技術委員会へは、当会会員企業の方々より参加していただいているが、まだまだ参加スロットには余裕がある。技術委員会への参加のご希望やご質問がありましたら、小職までお知らせいただければ幸いです。

[(一社) 日本航空宇宙工業会 国際部部长 羽中田 実]